

# 縄文の衣

（喜びを伝える風と時間の祝祭）

光を浴び 風を受け 縄文の衣が舞う  
そのときそこは  
宇宙に変わる

パフォーマンス  
2017.

9.16 16:30  
開演

茅野市立永明小学校 体育館

監修 時広真吾 (衣装デザイナー)

振付 小笠原大輔 (ダンサー・振付家)

お問い合わせ  
茅野市民館  
指定管理者 株式会社地域文化創造  
〒391-0002 茅野市塚原一丁目1番1号  
TEL 0266-82-8222  
9:00~22:00 火曜休館  
<http://www.chinoshiminkan.jp/jomon/>

平成29年度茅野市民館主催事業「あそびからクリエイティブ」  
主催：茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造  
助成：平成29年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業、一般財団法人 地域創造



縄文から現在、未来を繋ぐ、茅野の風土と人々の想い。衣装デザイナー・時広真吾と市民が「衣」をテーマに表現するパフォーマンスを創作します。  
小学校の体育館が、劇的な時空間に変わります。

山口県生まれ。ジャーナリストからスタイリストへ、1991年にモーツァルトのオペラ「魔笛」より、舞台衣装デザイン開始。独自のスタイルで創造された衣装たちは「風が纏う衣装」「挑発する衣装」「格闘する衣装」「文学的抒情」など様々な名前が、一流アーティストや演出家から与えられている。衣装展およびワークショップはアジア5か国（韓国、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム）を始めとして、国内でも各地で開催されている。シェイクスピアの衣装でヨーロッパ5か国のシェイクスピアフェスティバルから招聘される。西島数博演出・振付「ドラマティック古事記」や横内正主演「リア王」ほか、各地での地元市民による新しい「祭り」のプロジェクトを依頼されるなど、衣装デザイナーの域を超え多方面で活躍している。これまで、東儀秀樹、松井誠、真矢みき、安寿ミラ、宮川博、荻野目慶子や太鼓芸能集団「鼓童」、東京ノーヴィ、レパートリーシアターなどに衣装提供。プロ集団によって構成する「四つ花の会」、2010年より各地の地元のアーティストたちがコラボする「美の種」プロジェクト等を各地でプロデュース。海外ではオールラウンド・アーティストと称され、デザイナー、写真家、詩人、パフォーマーをこなす。作品集もこれまで8冊上梓している。

時広真吾

